事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0240
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中邑　康高
所属　2301　消防局消防総務課　記入者　山本　啓二
事務事業番号　00261　消防音楽隊事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	015　消防音楽隊事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市消防音楽隊規程				
事業概要	（事業概要） 消防音楽隊の活動を通して、広く市民に防火防災に関する広報活動と啓発活動を展開するとともに、大津市の防災まちづくりを推進する手法の一つとして、音楽隊演奏により安心、安全に暮らすことのできるまちづくりの推進や防火・防災意識の高揚を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 防火防災に対する市民意識が高まる中、幅広い年齢層への効果的な広報活動が求められている。広報媒体としてＳＮＳが普及する中、対面交流型広報も注目されつつある。 （見直しや改善等の経過） 広報展開の事前調整を十分に行い、「伝わる広報」ができるように演奏企画を構成している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民に対し
目的（何のために）	広報活動による防火・防災意識の高揚のために、
手段（どのようなやり方で）	消防音楽隊の演奏活動を通じて、
成果（どのような状態にするのか）	安心、安全に暮らすことのできるまちづくりを推進するとともに湖都「大津」のイメージアップに貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,988	5,182	5,352	5,361	5,361	5,361	5,361
事業費	308	382	552	561	561	561	561
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	308	382	552	561	561	561	561
人件費計	4,680	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
事務・技術（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0240
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
事務事業番号　00261　消防音楽隊事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-31-00-01-00	消防音楽隊事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）　訓練回数	回	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		15.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）　演奏回数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		17.00	16.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）　演奏実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		113.33	106.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	防火防災意識の啓発と市民に身近な広報活動として効果的である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	演奏回数及び訓練回数は、目標値を超えている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	費用対効果を高めつつ、「伝わる広報」を展開している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民の防火防災意識の高揚に有効な手段である。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	消防音楽隊による演奏を通じて、対面交流型広報を展開できている。今後も市民の付託に応えられるよう、訓練のあり方及び派遣内容や演奏方法等を検討しつつ、音楽を通じた広報活動として事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	音楽隊による広報活動は、幅広い年代に火災予防を啓発するための有効な方法である。今後も引き続き効率的かつ効果的な消防広報活動を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00261　消防音楽隊事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)　訓練回数	回	24.00 15.00	24.00 28.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00
	指標説明	音楽隊の訓練回数						
(活動)　演奏回数	回	15.00 17.00	15.00 16.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	音楽隊の出演演奏回数						
(成果)　演奏実施率	%	100.00 113.33	100.00 106.67	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	防火広報活動として年間の演奏目標回数に対する実施率						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0241
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中邑　康高
所属　2301　消防局消防総務課　記入者　戸田　知秀
事務事業番号　00266　団員消防活動事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	020　災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002　地域防災力の向上				
事務事業	006　団員消防活動事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律				
事業概要	（事業概要） 消防団員は、特別職の地方公務員として市民の生命・身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災または地震等の災害を防除し、これらの災害に因る被害を軽減することをその任務としており、これらの消防団員の報酬及び災害出動等に伴う費用弁償並びに福利厚生事業を展開するとともに、消防団員の確保に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年、災害は激甚化・頻発化・広域化し、いつ起こるかわからない自然災害が頻発する中、平成２５年１２月、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、市民の消防団に寄せられる期待は大きい。 （見直しや改善等の経過） 退団者の被服等を有効活用するため、「予備被服エコバンク」制度を継続し、経費削減に努める。 令和５年度以降、各種防火・防災訓練などの市民活動が再開されたことにより、訓練回数が増加した。 消防団員の確保を目的に、令和６年度１２月に分団長以下の定年を６５歳から７０歳に引き上げた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防団員に対し
目的(何のために)	市民生活の安心安全を確保するため
手段(どのようなやり方で)	消防団員の報酬と費用弁償及び消防団活動に必要な被服や消耗品等の支給と公務災害への身分保障により
成果(どのような状態にするのか)	円滑な消防団活動を展開するとともに、継続的な消防団員の確保に繋がる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	128,153	156,971	133,095	158,632	133,095	158,632	133,095
事業費	121,473	149,971	126,095	151,632	126,095	151,632	126,095
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	15,295	30,859	17,612	35,612	17,612	35,612	17,612
一般財源	106,178	119,112	108,483	116,020	108,483	116,020	108,483
人件費計	6,680	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
事務・技術（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0241
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
事務事業番号　00266　団員消防活動事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-51-00-01-00	団員消防活動費	消防局消防総務課
01-45-05-10-51-00-05-00	団員報酬等費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）消防団員定数	人	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00	1,313.00
		1,188.00	1,193.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）訓練指導回数	回	62.00	62.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		74.00	81.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）充足率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		90.05	91.77	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）訓練指導率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		119.35	130.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防組織法で消防団員は市町村の規則で定めるよう明記され妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	団員数は前年度から増加しており、訓練指導は充実している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	消防団が住民指導を実施することで地域防災力の向上につながる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民を災害から守る消防団員の強化は災害に強いまちづくりに貢献			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	各事業を実施するにあたり、消防団員の負担軽減を考慮しつつ、地域防災指導員を中心に積極的に推進することで、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。 消防団員数については、目標値に向けて大津市消防出初式、各地区の催しや訓練を通じて、消防団員募集を行う。令和７年度は、消防団員数が増加したことから、引き続き、消防団と連携し、消防局ホームページや消防団によるＳＮＳ等で紹介するなど、女性消防団員を含めた消防団員の入団促進に取り組む。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	地域防災力向上のため、消防団が地域の中核となり、地域住民の防災に関する意識を高める必要がある。 継続して消防団員の確保を進めるとともに、安全で迅速に消防団活動ができるよう環境等を整備し、消防団を中核とした地域防災力の一層の充実強化を図り、市民の安全確保に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00266　団員消防活動事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）消防団員定数	人	1,313.00 1,188.00	1,313.00 1,193.00	1,313.00 0.00	1,313.00 0.00	1,313.00 0.00	1,313.00 0.00	1,313.00 0.00
	指標説明	消防団員定数を目標とした団員確保数						
（活動）訓練指導回数	回	62.00 74.00	62.00 81.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00
	指標説明	消防団員による市民への訓練指導件数。令和７年度まではコロナ禍以前の実績値をもとに訓練指導回数を設定。 令和８年度以降は過去５年間の実績値の平均（コロナ禍除く）をもとに訓練指導回数を設定。						
（成果）充足率	%	100.00 90.05	100.00 91.77	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	条例定数に対する充足率						
（成果）訓練指導率	%	100.00 119.35	100.00 130.64	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	訓練指導回数の目標値に対する実施率						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0242
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中邑　康高
所属　2301　消防局消防総務課　記入者　戸田　知秀
事務事業番号　00268　団消防車両等整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	020　災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002　地域防災力の向上				
事務事業	008　団消防車両等整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防力の整備指針				
事業概要	（事業概要） 消防団活動に必要不可欠な資機材である消防団車両を整備することにより、災害防ぎょ活動の強化を図り、市民の生命・身体及び財産を保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらによる被害の軽減により、市民生活の安心・安全を確保する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年、災害が激甚化・頻発化・広域化する中で、消防関係機関に寄せられる市民の期待は年々大きくなっている。 （見直しや改善等の経過） 消防団車両等については、計画の実現性や費用対効果を考慮し、時代に即した改善に取り組んできた。 近年では、新免許区分に対応した普通免許区分で運転可能な消防ポンプ自動車の導入や地域性を考慮し、消防ポンプ自動車を小型ポンプ積載普通自動車に変更して更新するなどしている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消防団車両等（消防ポンプ車、小型動力ポンプ積載車、小型動力ポンプ）について
目的(何のために)	市民の安心・安全な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	更新と維持管理により
成果(どのような状態にするのか)	消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	65,037	92,634	48,495	64,251	41,437	58,686	41,437
事業費	63,477	91,034	46,895	62,651	39,837	57,086	39,837
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	58,500	45,000	39,300	54,200	31,550	53,200	31,550
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,977	46,034	7,595	8,451	8,287	3,886	8,287
人件費計	1,560	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
事務・技術（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0242
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
事務事業番号　00268　団消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-10-61-00-01-00	団消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）消防ポンプ車又は小型ポンプ積載車の新規購入又は更新	台	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		2.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）小型動力ポンプの新規購入又は更新	台	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00
		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）消防分団数に対する消防ポンプ車等の実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）小型ポンプの実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	大規模災害に備え、各学区への分団車両配備は妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	消防団車両を中心とした活動により地域防災力は向上している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	車両再編計画に基づき効率的に更新している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	防災力の要である消防団車両等更新は災害に強いまちづくりに直結			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	消防団車両等の更新整備については、地域防災力の充実強化に欠かせない事業であることから、「大津市消防団車両等再編計画」に基づき、消防団と調整を図り、現在配備している車両等の老朽化の状況等も鑑み、適正に更新整備していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	近年、激甚化・頻発化・広域化する災害に伴い、消防団による現場活動の必要性は年々高まっている中、消防団車両等の更新整備については、地域防災力の充実強化に欠かせない事業である。 引き続き社会情勢を注視しつつ、消防団と連携を図りながら「大津市消防団車両等再編計画」に基づき更新整備していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00268　団消防車両等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）消防ポンプ車又は小型ポンプ積載車の新規購入又は更新	台	2.00 2.00	2.00 5.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	消防ポンプ車又は小型ポンプ積載車の新規購入又は更新						
（活動）小型動力ポンプの新規購入又は更新	台	1.00 1.00	0.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	小型動力ポンプの新規購入又は更新						
（成果）消防分団数に対する消防ポンプ車等の実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	「大津市消防団車両等再編計画」に基づく消防分団に対する消防ポンプ車の実施率						
（成果）小型ポンプの実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	「大津市消防団車両等再編計画」に基づく小型ポンプの更新						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0243
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中邑　康高
所属　2301　消防局消防総務課　記入者　生田　和子
事務事業番号　02526　防火衣更新事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	014　防火衣更新事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市消防吏員の服制に関する規則、大津市消防吏員の被服等の貸与に関する規程				
事業概要	（事業概要） 平成２６年から貸与している防火衣は、耐用年数が経過しており経年劣化及び損傷が多くみられる。 また、総務省消防庁において、防火装備の性能基準を示したガイドラインが策定されており、令和４年４月に更新されたことから、近年の激甚化・頻発化・広域化する災害から活動隊員の安全を確保するために防火衣及び活動服を更新し、消防活動体制の強化を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年、建物の高気密化・高断熱化により、火災現場における消防吏員の活動危険が高まっている。建物構造と火災性状の変化に伴い、総務省消防庁においても個人防火装備の性能基準を示したガイドラインが更新された。 （見直しや改善等の経過） 防火衣は、令和５年度から順次更新しており、現場対応職員を最優先に更新するとともに、年次計画的に全職員分を更新する計画とした。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	総務省消防庁が示した個人防火装備のガイドラインに準じた防火衣及び活動服
目的（何のために）	あらゆる災害において活動する隊員の安全確保を図ることを目的とする。
手段（どのようなやり方で）	現場活動を行う可能性のある全職員分を、複数年度で計画的に更新する。
成果（どのような状態にするのか）	近年の災害状況に対応した活動が可能となり、消防活動体制が強化される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	37,575	37,993	29,270	14,421	10,325	11,205	10,380
事業費	33,675	33,993	25,270	10,421	6,325	7,205	6,380
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	33,675	33,993	25,270	10,421	6,325	7,205	6,380
人件費計	3,900	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0243
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
事務事業番号　02526　防火衣更新事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-09-00	防火衣更新事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)活動服更新数	着	105.00	102.00	89.00	102.00	111.00	122.00	112.00
		110.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)防火衣更新数	式	84.00	84.00	47.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		84.00	84.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)活動服更新率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		104.76	98.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)防火衣更新率	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	活動隊員の安全に直結する事業であり妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	ガイドラインに準じた防火衣に更新することで成果目標を達成			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	計画的・効率的に更新できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	活動隊員の安全が確保され、消防活動体制の強化につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	活動服及び防火衣は、現場で活動隊員の身を守る最も重要な装備であり、活動隊員の安全性を向上させることが、市民の安心・安全を守ることにつながる。 活動服は令和４年度から更新を始め、耐用年数が３年のため、今後も計画的に更新していく。 防火衣は令和５年度から更新を始め、今後も耐用年数に応じて適切に更新していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民の安心・安全を確保するためにも、安全性の高い防火服及び活動服により災害現場における活動隊員の身を守ることが最も重要である。引き続き、計画的に更新していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2301　消防局消防総務課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02526　防火衣更新事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)活動服更新数	着	105.00 110.00	102.00 100.00	89.00 0.00	102.00 0.00	111.00 0.00	122.00 0.00	112.00 0.00
	指標説明	全職員を３グループに分け、毎年１グループ分の活動服を更新する。 ※採用、退職職員の増減による目標値の修正						
(活動)防火衣更新数	式	84.00 84.00	84.00 84.00	47.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	令和５年度から年次計画的に全職員分を更新する。令和５年度から令和７年度の３年間は、現場対応職員を優先して更新する。※令和７年度に定年退職以外に退職職員がいたため目標値の修正						
(成果)活動服更新率	%	100.00 104.76	100.00 98.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	更新予定数に対する更新率						
(成果)防火衣更新率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	更新予定数に対する更新率						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0244
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　木下　龍起
所属　2353　消防局予防課　記入者　武田　友紀子
事務事業番号　00224　自主防災組織等育成事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	020　災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002　地域防災力の向上				
事務事業	004　自主防災組織等育成事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	災害対策基本法、消防組織法、大津市災害等対策基本条例				
事業概要	（事業概要） 大規模災害に対する事前の備えと被害の軽減を目指して、学区自主防災会・地域（自治会）自主防災組織・女性防火クラブ連合会等の防災に関連する団体の育成に係る補助を行い、組織の活性化及び災害対応能力を強化させることにより、地域防災力の向上を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 各種災害が激甚化、頻発化、広域化の傾向にあり、市民の公助に対する期待が高まるなか、自助・共助にかかる防災意識の醸成が必要である。 （見直しや改善等の経過） 補助事業を効果的に活用いただけるよう、地域の要望等を踏まえ申請対象者や補助対象となる資器材の見直しを随時行っており、令和６年度からは学区自主防災組織活動補助金の拡充を行った。また、令和３年度からは、防災関係団体等の連携を図ることを目的に地域防災力連携強化会議の開催を推進している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	学区及び自治会の自主防災組織並びに女性防火クラブ連合会に対し
目的(何のために)	地震や土砂災害等の大規模災害時に被害の軽減を行うとともに、市民の生命を守り安心な生活を確保するため
手段(どのようなやり方で)	防火・防災資器材等をはじめとした、補助金の交付及び各種訓練指導を行い
成果(どのような状態にするのか)	公助に頼ることなく、自分の身は自分で守り（自助）、自分たちのまちは自分たちで守る（共助）という考えから自主防災活動を通じて、災害発生時の被害軽減を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	55,167	58,783	59,187	61,234	61,234	61,234	61,234
事業費	6,047	6,063	9,157	11,204	11,204	11,204	11,204
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,590	0	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000
一般財源	4,457	6,063	6,657	7,704	7,704	7,704	7,704
人件費計	49,120	52,720	50,030	50,030	50,030	50,030	50,030
事務・技術（人）	6.00	6.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.40	0.80	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0244
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2353　消防局予防課
事務事業番号　00224　自主防災組織等育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-03-00	自主防災組織等育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学区自主防災組織活動補助金利用数	組織	26.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		36.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)地域における防災関係者会議数	回	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		23.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)学区自主防災組織訓練実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		83.33	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)訓練１件あたりに占める防災士の活動人数	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
		2.79	2.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域防災力向上のため本市の財政支援は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	補助事業等が自主防災組織の活性化と充実強化に有効である。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	補助事業により効率的に資器材を整備することが可能である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	補助事業やフォローアップ研修等により充実強化に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	学区及び地域の自主防災組織等への財政的支援により、自主的な防災活動を充実させ、自助、共助による地域防災力を強化することにより、災害による被害を軽減させる防災体制を構築する。また、地域における防災関係団体等について連携体制の構築を図るとともに市民主体による防災訓練を支援し地域防災力の向上を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	学区及び地域の自主防災組織等への財政的支援として補助事業を継続するとともに、市民主体の効果的な防災訓練の実施や自主防災組織と防災関係団体等の連携が図られるように会議等の開催を支援し、地域防災力の向上を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2353　消防局予防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00224　自主防災組織等育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学区自主防災組織活動補助金利用数	組織	26.00 36.00	36.00 36.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	学区自主防災組活動補助金を利用した組織数（※令和６年度学区自主防災組織活動補助金の拡充に伴い指標を上方修正）						
(活動)地域における防災関係者会議数	回	20.00 23.00	20.00 25.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	地域における防災関係者の会議数（ブロック防災圏、学区連携強化会議）						
(成果)学区自主防災組織訓練実施率	%	100.00 83.33	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	学区自主防災組織の訓練実施率						
(成果)訓練１件あたりに占める防災士の活動人数	人	1.50 2.79	1.50 2.18	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00
	指標説明	訓練１件あたりに占める防災士の活動人数（防災士の訓練参加人数／学区、地域訓練回数）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0245
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　木下　龍起
所属　2353　消防局予防課　記入者　駒井　克哉
事務事業番号　02372　火災予防業務事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	005　火災予防業務事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	消防法、火災予防条例、火災予防査察規程、火災予防違反処理規程、火災調査規程				
事業概要	（事業概要） 防火対象物や危険物施設における防火・防災対策について適正な指導を行い、建物利用者の安全確保及び危険物施設に関連する事故防止の徹底を図る。また、出火原因や傾向を分析し効果的な防火広報を展開するとともに実効性の高い訓練指導を行い、住宅火災等の発生防止に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市内の防火対象物数、危険物施設数については近年大きな増減はない。火災件数は減少傾向にあるものの、住宅火災についてはここ１０年間は横ばいで推移している。 （見直しや改善等の経過） 消防法令違反に対しては、適正に違反処理（行政指導、行政処分）を行い早期是正を促進するとともに、自主防火・防災管理体制の強化を推進している。また、出火原因の傾向を分析し、類似火災の防止対策に取り組み効果的かつ多様な火災予防啓発を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	防火対象物、危険物施設等の事業所及び住宅（市民）を対象として
目的(何のために)	防火対象物や危険物施設の火災及び事故発生要因の排除及び、住宅火災減少のために
手段(どのようなやり方で)	防火対象物及び危険物施設への立入検査を年間業務計画に基づき適正に行うとともに、出火原因や傾向を分析し効果的な防火広報や市民主体による実効性のある訓練指導を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	防火対象物及び危険物施設に対して消防法令違反を是正し、防火・防災対策の向上を図るとともに、住宅火災の発生を防止することで安心・安全に暮らすことのできるまちづくりの実現を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	220,867	214,533	215,484	217,874	217,874	217,874	217,874
事業費	2,097	1,813	2,174	4,564	4,564	4,564	4,564
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,097	1,813	2,174	4,564	4,564	4,564	4,564
人件費計	218,770	212,720	213,310	213,310	213,310	213,310	213,310
事務・技術（人）	27.75	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.40	0.80	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0245
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2353　消防局予防課
事務事業番号　02372　火災予防業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-41-00-05-00	火災予防業務費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)防火対象物等の立入検査数	回	2,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		2,341.00	1,513.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)施設及び設備等を活用した専門性の高い火災原因調査件数	件	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		34.00	23.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)立入検査の指摘事項に対する是正数	件	3,000.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00
		3,136.00	1,906.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)製品火災の原因判定率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		100.00	97.77	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	出火防止、安全対策の指導にかかる事業主体、手段は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	安全、安全に暮らすことのできるまつづくりに寄与している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	社会情勢を見極めて適正かつ効率的な実施方法に努めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	予防対策の充実強化に努めている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	防火対象物及び危険物施設に係る防火・防災について安全性を向上させるため、消防法令違反に対する是正指導が行える組織体制の確立に努める。令和７年度からは、火災危険等を総合的に評価し優先順位をつけるとともに、査察計画を見直し、立入検査数の目標値を変更した。その結果、質の高い立入検査と効率的・効果的な是正指導に繋がった。また、事業所等における自主防火・防災管理体制の強化を図り、持続可能な出火防止及び事故防止対策を推進する。火災の原因調査については、高度な分析機器等を有効に活用して鑑識及び燃焼実験を行い出火原因の究明に努める。また、その調査結果を活用し、効果的な火災予防広報活動を実施し類似火災の発生防止を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	防火対象物及び危険物施設に対しては自主防火・防災管理体制の強化が図られるよう引き続き適正な指導等を行うとともに、火災危険等を総合的に評価し立入検査を行うことにより適正な消防法令違反の是正指導を行い施設利用者等の安全確保に努める。 また、効果的な火災予防啓発を展開し、住宅火災防止対策の徹底を図り安心、安全に暮らすことのできるまちづくりを推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2353　消防局予防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02372　火災予防業務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)防火対象物等の立入検査数	回	2,200.00 2,341.00	1,200.00 1,513.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00
	指標説明	防火対象物、危険物施設の立入検査数を計上。令和７年度以降は、火災危険等を評価し優先順位をつけるとともに質の高い立入検査を実施し、さらに消防業務の効率化並びにスリム化を図るため目標値を見直し修正した。						
(活動)施設及び設備等を活用した専門性の高い火災原因調査件数	件	15.00 34.00	15.00 23.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	施設及び設備等を活用した専門性の高い火災原因調査件数（鑑識、鑑定、燃焼実験）						
(成果)立入検査の指摘事項に対する是正数	件	3,000.00 3,136.00	1,600.00 1,906.00	1,600.00 0.00	1,600.00 0.00	1,600.00 0.00	1,600.00 0.00	1,600.00 0.00
	指標説明	立入検査の指摘事項に対する是正数を計上（是正数には改修報告提出数を含む）。令和７年度以降の目標値については、防火対象物の立入検査数の目標値見直しに伴い修正した。						
(成果)製品火災の原因判定率	%	90.00 100.00	90.00 97.77	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	製品火災の原因判定率を計上（件数は車両火災のすべてを含む）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0246
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　谷　光芳
所属　2354　消防局警防課　記入者　山中　創
事務事業番号　00278　消防車両等整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	008　消防車両等整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法　消防力の整備指針				
事業概要	（事業概要） 激甚化、頻発化、広域化する災害に、迅速かつ的確に対応する能力を維持するため、消防車両、救急車両、消防用機械器具等の更新、並びに修繕・整備が不可欠となる。このことから消防車両等整備計画に基づき、年次計画的に車両及び車両に積載する消防用機械器具の更新、はしご車等の定期的なオーバーホールを実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 激甚化、頻発化、広域化する災害に加え、テロ災害の危険性も高まるなど、刻々と社会環境は変化している。また、救急件数の増加、救急業務の高度化など市民のニーズは増大している。 （見直しや改善等の経過） 災害の様態を考慮した車両設計や更新計画を策定するとともに、オーバーホールなどのメンテナンスを行うことで、効率的な維持管理に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	消防・救急車両及び積載消防用機械器具等を
目的（何のために）	激甚化、頻発化、広域化する災害に迅速かつ的確に対応するために
手段（どのようなやり方で）	年次計画に基づき更新及び大規模な修繕整備を行い
成果（どのような状態にするのか）	災害現場において、迅速・確実に、かつ最大限にその能力を発揮させ、災害による被害の軽減を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	254,048	108,410	83,136	134,786	128,980	263,630	182,360
事業費	250,148	104,410	79,136	130,786	124,980	259,630	178,360
国庫支出金	0	18,966	14,819	4,803	0	70,063	15,092
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	230,166	31,600	16,300	103,100	96,000	164,300	102,800
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	19,982	53,844	48,017	22,883	28,980	25,267	60,468
人件費計	3,900	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0246
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00278　消防車両等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-26-00-01-00	消防車両等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）消防・救急車両更新台数（消防車、救急車）	台	4.00 4.00	4.00 4.00	1.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
（成果）消防・救急車両更新計画に基づく更新実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	車両更新計画と実情に応じて更新している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	災害現場での現場活動体制を維持できている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	改善点を見つけ効率的に事業を推進している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	実情を踏まえ柔軟に計画を見直すなどして目標達成に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	車両については、実情に応じ車両更新計画に基づき効果的に更新する。車両更新の際には、車両、資器材が現状に則したもので的確なコストであるかを見極めて仕様書を作成する。また、災害対応能力を維持できるよう車両・資器材のメンテナンスを継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	車両更新計画に基づき効果的に更新していく。また、災害対応能力を維持できるよう車両・資器材のメンテナンスを確実に実施していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00278　消防車両等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）消防・救急車両更新台数（消防車、救急車）	台	4.00 4.00	4.00 4.00	1.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	消防・救急車両更新計画に基づく更新台数						
（成果）消防・救急車両更新計画に基づく更新実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	消防・救急車両更新計画に基づく更新台数の成果率。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0247
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　谷　光芳
所属　2354　消防局警防課　記入者　伊藤　智文
事務事業番号　00279　消防水利施設整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	006　消防水利施設整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法　消防水利の基準				
事業概要	（事業概要） 火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また、大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため、消火栓及び耐震性貯水槽等、消防水利施設の整備を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 耐震性貯水槽は、大規模な火災に繋がる危険性が高い地域への設置が必要であるが、設置するための用地確保が困難な状況にある。 また、既存の水利施設は老朽化が進み、維持管理のため更新、廃止が必要なものも出てきている。 （見直しや改善等の経過） 以前は学区ごとにバランスを考慮して設置してきたが、平成２８年に糸魚川市で発生した大規模木造住宅密集地火災の教訓から、大規模な火災に繋がる危険性が高い地域に設置する長期計画とした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	消火栓及び耐震性貯水槽等の消防水利施設を
目的(何のために)	火災発生時の消火活動を円滑に行うため、また大規模災害に伴う火災発生時の消防水利確保のため
手段(どのようなやり方で)	消火栓については、水道配管の新設や維持管理に併せて設置及び修繕を行い、耐震性貯水槽については、大規模な火災に繋がる危険性が高い地域を捉えて整備し
成果(どのような状態にするのか)	火災発生時における被害の軽減を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	48,483	38,857	75,054	62,200	63,300	44,200	63,300
事業費	44,583	34,857	71,854	59,000	60,100	41,000	60,100
国庫支出金	0	0	2,743	4,088	4,088	0	4,088
県支出金	0	0	1,500	3,400	0	0	0
地方債	5,133	1,173	24,700	11,500	14,200	0	14,200
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	39,450	33,684	42,911	40,012	41,812	41,000	41,812
人件費計	3,900	4,000	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術（人）	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0247
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00279　消防水利施設整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-15-66-00-01-00	消防水利施設整備費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）　耐震性貯水槽の整備数（目標値隔年１基）	基	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00
		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）　耐震性貯水槽設置数	基	79.00	79.00	80.00	81.00	82.00	82.00	83.00
		79.00	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防責任を有する自治体が担うものである			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	計画どおり進捗している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	建築課から技術支援を受け、効率的に事務を進めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大規模災害時の多様な消防水利確保に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	引き続き、住宅密集地等における耐震性貯水槽の設置工事は計画的に進める一方で、設置から５０年を経過した防火水槽については、代替消防水利の充足状況や安全性の観点からも長寿命化や撤去を含めた総合的な消防水利計画として検討を進める必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	耐震性貯水槽は、計画どおり設置を推進し、設置から５０年を経過した防火水槽等は、長寿命化や撤去を含めた総合的な消防水利計画として検討していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00279　消防水利施設整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)　耐震性貯水槽の整備数（目標値隔年１基）	基	1.00 1.00	0.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	耐震性貯水槽の整備数（隔年ごとに設置） ※令和９年度の整備は耐震性貯水槽整備計画に基づく整備とは別で、道路事業に伴う水槽移転による整備						
(成果)　耐震性貯水槽設置数	基	79.00 79.00	79.00 79.00	80.00 0.00	81.00 0.00	82.00 0.00	82.00 0.00	83.00 0.00
	指標説明	昭和５９年度以降、消防局が整備した耐震性貯水槽の設置数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0248
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　谷　光芳
所属　2354　消防局警防課　記入者　池藤　正人
事務事業番号　00282　特殊災害活動体制整備事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします			
施策	021	安心して暮らせるまちづくりの推進			
取組の方向性	003	消防・救急体制の充実			
事務事業	010	特殊災害活動体制整備事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防法　消防組織法　消防力の整備指針				
事業概要	（事業概要） 大規模自然災害をはじめ、山岳救助事故、水難救助事故などの特殊災害に的確に対応できる人材を育成するため、訓練環境等の整備を行い、災害対応体制を強化するもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 生活様式や余暇活動の多様化等により、山岳、水難救助事故が増加することに加え、自然災害も頻発しており、この分野に的確に対応できる隊員の育成が求められている。 （見直しや改善等の経過） 事案の多様化に伴い、活動環境も多様化している中、あらゆる災害に的確に対応するため、ＯＪＴや外部研修派遣、現地訓練、災害対応資機材整備等を行ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	救助隊員をはじめ、消防局職員に対し
目的(何のために)	大規模自然災害や水難・山岳救助事案などの災害による活動体制の整備と、災害による被害を軽減するために
手段(どのようなやり方で)	年間訓練計画に基づき、実践的な訓練を実施することによって
成果(どのような状態にするのか)	これらの災害に安全・的確・迅速に対応できる人材を育成し、市民の安心・安全な暮らしを確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	181,160	185,883	185,435	185,356	185,435	185,234	185,234
事業費	1,760	1,883	2,235	2,156	2,235	2,034	2,034
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,760	1,883	2,235	2,156	2,235	2,034	2,034
人件費計	179,400	184,000	183,200	183,200	183,200	183,200	183,200
事務・技術（人）	23.00	23.00	22.90	22.90	22.90	22.90	22.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0248
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00282　特殊災害活動体制整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-01-00	特殊災害活動体制整備事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)救助隊定期訓練回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		4.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)水難救助訓練回数	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		5.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)救助隊定期訓練実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		33.33	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水難救助訓練実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		50.00	120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	危険と隣り合わせの特殊環境下における活動			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	実践的訓練による活動技術及び知識の習得			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	年間訓練計画に基づく実践的な訓練の実施			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	特殊災害への備えは市民の安心・安全に繋がる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	安全管理体制や訓練内容の見直しを行ったなかで訓練を計画し、大規模自然災害をはじめとする山岳事故や水難事故等に即応できる活動体制を確立するとともに、安全最優先の活動及び次世代の隊員育成を見据えた訓練を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	大規模自然災害をはじめとする山岳事故や水難事故等に即応できる活動体制を確立するとともに、安全最優先の活動と計画的な隊員育成を実施していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00282　特殊災害活動体制整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)救助隊定期訓練回数	回	12.00 4.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	救助隊定期訓練の「訓練回数」「単位：回」						
(活動)水難救助訓練回数	回	10.00 5.00	10.00 12.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
	指標説明	水難救助訓練の「訓練回数」「単位：回」						
(成果)救助隊定期訓練実施率	%	100.00 33.33	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	救助隊定期訓練の「訓練実施率」「単位：%」						
(成果)水難救助訓練実施率	%	100.00 50.00	100.00 120.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	水難救助訓練の「実施率」「単位：%」						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0249
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　谷　光芳
所属　2354　消防局警防課　記入者　伊藤　智文
事務事業番号　00284　消防救助業務事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	011　消防救助業務事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法				
事業概要	（事業概要） 火災をはじめ、各種災害に迅速かつ的確に対応するため、各部隊の災害対応訓練を実施することにより部隊活動体制の強化を図り、市民の生命、身体及び財産を各種災害から保護する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年、火災はもとより地震、洪水、土砂災害などの自然災害が頻発している。 （見直しや改善等の経過） 特別消火隊員を南消防署に配備し、火災発生時における人命救助と被害軽減を図るため、各隊が消火隊の教育訓練を実施している。また、複数隊合同の連携訓練も計画的に実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	消防・救助資機材と各部隊を
目的（何のために）	各種災害に対応し、被害を最小限に留めるために
手段（どのようなやり方で）	年次計画的に資機材を整備し、各隊の連携を強化することにより
成果（どのような状態にするのか）	災害対応力の向上を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	1,011,270	1,062,165	1,086,140	1,085,944	1,086,140	1,086,140	1,086,140
事業費	3,260	3,245	3,140	2,944	3,140	3,140	3,140
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,260	3,245	3,140	2,944	3,140	3,140	3,140
人件費計	1,008,010	1,058,920	1,083,000	1,083,000	1,083,000	1,083,000	1,083,000
事務・技術（人）	127.15	132.07	133.90	133.90	133.90	133.90	133.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	2.80	0.40	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0249
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00284　消防救助業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-04-00	消防救助業務費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)４署２分署での年間訓練実施回数（目標１回/１日）	回	2,190.00 1,650.00	2,190.00 2,238.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00
(成果)４署２分署での年間訓練実施率（基準１回/１日）	%	100.00 75.34	100.00 102.19	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防機関として資器材装備の整備と部隊活動の強化は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	資器材装備の充実と部隊強化により被害の軽減に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	年次計画により効率的に資器材整備が図れている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	資器材整備により消防力の充実に貢献できている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	救助訓練中の事故を受け、組織を挙げて安全文化の再構築に取り組んでいる中、その根幹である活動訓練の実施状況について、指標に掲げる訓練回数の目標値を達成することができた。今後も安全管理体制の充実強化を図りながら、いかなる災害にも迅速・確実に対応できるよう、各部隊の活動能力向上に向け、訓練体制、消防装備等の充実を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	今後も安全管理体制の充実強化を図りながら、いかなる災害にも迅速・確実に対応できるよう、各部隊の活動能力向上に向け訓練を実施し、災害対応能力の向上と被害の軽減に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00284　消防救助業務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)４署２分署での年間訓練実施回数（目標１回/１日）	回	2,190.00 1,650.00	2,190.00 2,238.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00	2,190.00 0.00
	指標説明	現場活動能力の向上を図るための訓練実施回数（目標値：各署１日１回以上、FW消防訓練・その他入力分で抽出）						
(成果)４署２分署での年間訓練実施率（基準１回/１日）	%	100.00 75.34	100.00 102.19	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	訓練実施回数達成率（基準値：各署１日１回、FW消防訓練・その他入力分で抽出）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0250
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　谷　光芳
所属　2354　消防局警防課　記入者　横江　大輔
事務事業番号　00287　救急高度化推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	016　救急高度化推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法　救急救命士法				
事業概要	（事業概要） 救急業務に対する市民ニーズが多様化するなか、指示医療機関である３病院と連携して平成２８年度から派遣型救急ワークステーション（以下「ＷＳ」という。）を本格運用し、救急救命士を含む救急隊員の応急処置等について医学的な質の保証を図るなど、救急業務の高度化を推進している。また、新規救急救命士の養成及び救急救命士が高度な処置を行うための研修への派遣、並びにメディカルコントロール体制の充実強化を図っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 超高齢社会にあって、救急業務に対する市民ニーズが多様化・複雑化し、救急出動及び傷病者搬送件数が増加傾向にある。 （見直しや改善等の経過） 指導救急救命士による救急救命士の教育を行うとともに、ＷＳによる救急救命士や救急隊員の研修体制を改善させている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	①救急隊員を ②救急救命士を
目的（何のために）	傷病者の救命率・社会復帰率を向上させるため 傷病者の後遺症の軽減、容態の悪化防止のため
手段（どのようなやり方で）	①ＷＳへ派遣又は救急救命士養成所へ派遣し、新規救急救命士を養成することにより ②ＷＳへ派遣又は薬剤投与や気管挿管等の高度な処置を行うための追加研修に派遣することにより
成果（どのような状態にするのか）	早期に質の高い救命処置を行える体制が築け、傷病者の後遺症軽減と容態悪化を防ぐとともに、心肺停止傷病者の救命率を向上させる。加えて、１１９番通報時の口頭指導体制の強化と事後検証体制の強化を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	373,283	382,714	381,755	382,496	382,496	382,496	382,496
事業費	10,583	10,714	11,395	12,136	12,136	12,136	12,136
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,583	10,714	11,395	12,136	12,136	12,136	12,136
人件費計	362,700	372,000	370,360	370,360	370,360	370,360	370,360
事務・技術（人）	46.50	46.50	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0250
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　00287　救急高度化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-36-00-01-00	救急高度化推進事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)救急救命士数	人	89.00	89.00	88.00	88.00	88.00	88.00	88.00
		88.00	94.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)気管挿管、アドレナリン投与等が実施できる救急救命士数	人	73.00	78.00	81.00	84.00	84.00	84.00	84.00
		72.00	78.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)救命率（心原性かつ目撃があった症例の１か月生存率）	%	10.70	10.70	10.70	10.70	10.70	10.70	10.70
		12.20	28.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)高度救命処置実施数	件	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
		602.00	581.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防機関が救急業務の質を担保することは妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	救命率は目標値を上回り、救命体制の高度化は継続している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	計画的な派遣研修と病院実習により効果的に実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	高度救命処置が行える救急救命士を養成し体制の充実が進んでいる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	退職等により現場で活動する救急救命士の人員減少に備えた計画的な救急救命士の新規養成と、高度な救命処置が実施できる救急救命士を継続して養成する必要がある。また、病院派遣型救急ワークステーション等を通じて、救急隊員の病態判断と処置技術が向上できる教育体制を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	計画的に救急救命士と、高度な救命処置が実施できる救急救命士を養成するとともに、救急隊員の病態判断と処置技術が向上できる教育を実施していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00287　救急高度化推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)救急救命士数	人	89.00 88.00	89.00 94.00	88.00 0.00	88.00 0.00	88.00 0.00	88.00 0.00	88.00 0.00
	指標説明	救急救命士の総数						
(活動)気管挿管、アドレナリン投与等が実施できる救急救命士数	人	73.00 72.00	78.00 78.00	81.00 0.00	84.00 0.00	84.00 0.00	84.00 0.00	84.00 0.00
	指標説明	気管挿管、アドレナリン投与等が実施できる救急救命士の総数						
(成果)救命率（心原性かつ目撃があった症例の１か月生存率）	%	10.70 12.20	10.70 28.80	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00	10.70 0.00
	指標説明	R6年度以降の目標値は、R3～4の全国平均値とする。						
(成果)高度救命処置実施数	件	600.00 602.00	600.00 581.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00
	指標説明	心肺停止傷病者及び心肺停止前重度傷病者に対する高度救命処置実施延べ数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0251
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　谷　光芳
所属　2354　消防局警防課　記入者　横江　大輔
事務事業番号　02066　救急業務事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	002　救急業務事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	消防組織法　消防法				
事業概要	（事業概要） 多様化する市民ニーズに的確に対応するため、救急活動資器材の整備をはじめ、市民による応急手当の実施率の向上を目的に、救命講習をはじめとする応急手当の普及啓発を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 救急件数が増加傾向にあり、救急資器材や医療用酸素等の消耗品需要が急増に加えて、関連価格が高騰している。 （見直しや改善等の経過） 適切な救命処置の実施や市民応急処置の普及を図るため、資器材品目の見直し等による調達の合理化を進めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	①　救急資器材等の装備及び消耗品を ②　小学校高学年から成人まで市民を対象としたＡＥＤの使用方法を含む応急手当講習を
目的（何のために）	①　超高齢社会の進展による救急要請の増加に対応するため ②　心肺停止傷病者の救命率の向上を図るため
手段（どのようなやり方で）	①　年次的に整備・充実させることにより ②　積極的に学校や市民団体等へ普及し
成果（どのような状態にするのか）	①　市民から信頼される救急活動を実施する。 ②　受講者数を増加させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	215,261	219,398	222,817	224,975	224,975	224,975	224,975
事業費	8,951	9,798	12,457	14,615	14,615	14,615	14,615
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,130	2,572	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780
一般財源	6,821	7,226	9,677	11,835	11,835	11,835	11,835
人件費計	206,310	209,600	210,360	210,360	210,360	210,360	210,360
事務・技術（人）	26.45	26.20	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0251
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　02066　救急業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-49-00-07-00	救急業務費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ＡＥＤの使用方法を含む講習受講者数（場所指定募集）	人	7,000.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00	4,300.00
		4,573.00	4,318.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)心停止事故を目撃又は発見した市民による救命手当の実施	%	0.00	0.00	51.90	51.90	51.90	51.90	51.90
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)市民による電気ショックの実施率	%	24.00	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		29.40	15.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	救急業務は法令に基づく市町村業務のため妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	電気ショックの適応は傷病者の容体によるが講習受講者が増加した			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	講習会では訓練資機材を用いて効率的に実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	講習受講者が増加し応急手当普及啓発が推進できている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	救命率の向上には、その場に居合わせた市民等による応急手当が大きく影響するため、応急手当の普及啓発を推進する必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	計画どおり、救命講習会等通じて、応急手当の普及啓発を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02066　救急業務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ＡＥＤの使用方法を含む講習受講者数（場所指定募集）	人	7,000.00 4,573.00	4,300.00 4,318.00	4,300.00 0.00	4,300.00 0.00	4,300.00 0.00	4,300.00 0.00	4,300.00 0.00
	指標説明	応急手当講習会の修了者						
(成果)心停止事故を目撃又は発見した市民による救命手当の実施	%	0.00 0.00	0.00 0.00	51.90 0.00	51.90 0.00	51.90 0.00	51.90 0.00	51.90 0.00
	指標説明	指標の成果についてＡＥＤの実施率に注目していたが、救命率の向上を図るためには応急手当の普及啓発が必要であることから、ＡＥＤの活用を包含する救命手当の実施率に変更した。						
(成果)市民による電気ショックの実施率	%	24.00 29.40	24.00 15.30	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	電気ショック実施総数のうち市民による実施率						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0252
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　谷　光芳
所属　2354　消防局警防課　記入者　池藤　正人
事務事業番号　02096　国際消防救助隊員育成事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	013　国際消防救助隊員育成事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	国際緊急援助隊の派遣に関する法律				
事業概要	（事業概要） 海外で大規模災害が発生した場合に、国際消防救助隊の登録消防本部として救助隊員を被災国に派遣するため、国の定める派遣体制を整えている。国際緊急援助活動に必要な教育訓練を実施するよう国の要綱に定められており、国際緊急援助活動のルールに遵守し知識及び救助技術の習得をさせる事業。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 海外でも大規模地震等が頻発し、日本の国際緊急援助隊救助チームの派遣体制の確保及び登録隊員は国際標準の救助技術や知識を備えている必要がある。 （見直しや改善等の経過） 登録隊員は原則、任期を４年単位として２年ごとに半数の隊員を更新している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	全国７７消防本部５９９人のうち、大津市消防局が登録している国際消防救助隊員６人を対象に
目的（何のために）	日本国政府唯一の救助チームとして、海外で発生した大規模災害に派遣される国際消防救助隊登録隊員に対し、国際的に定められた標準的手法や知識・技術習得のために
手段（どのようなやり方で）	年間教育訓練計画を年度当初に定め、当該計画を実行していく。また、総務省消防庁等が主催する各種教育訓練へ登録隊員を派遣する
成果（どのような状態にするのか）	国際標準の救助技術を習得する事により、派遣時に他機関（海上保安庁、警察機関）とスムーズな連携が実施できる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,046	20,422	20,405	20,333	20,405	20,477	20,477
事業費	546	422	405	333	405	477	477
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	546	422	405	333	405	477	477
人件費計	19,500	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
事務・技術（人）	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0252
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　02096　国際消防救助隊員育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-03-00	国際消防救助隊員育成事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)年間教育訓練	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		4.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)教育訓練実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		33.33	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	登録消防本部として派遣体制を整える必要がある			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	各種教育訓練への派遣及び内部訓練が実施できている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	他消防本部と連携して効率的に訓練が実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	国連機関の認証試験隊員として参加し、高い評価を得ている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	安全管理体制や訓練内容の見直しを行ったなか訓練を計画し、国際消防救助隊登録隊員として国際標準の救助技術や知識等を身につけるとともに、今後も円滑な出動態勢の確保に繋げるための訓練を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	引続き、国際消防救助隊登録隊員として国際標準の救助技術や知識等を身につける訓練を実施し、円滑な出動態勢の確保に繋げていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02096　国際消防救助隊員育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)年間教育訓練	回	12.00 4.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	年間の「訓練回数」「単位：回」						
(成果)教育訓練実施率	%	100.00 33.33	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	年間の「訓練実施率」「単位：%」						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0253
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　谷　光芳
所属　2354　消防局警防課　記入者　池藤　正人
事務事業番号　02634　大規模災害活動対応事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	012　大規模災害活動対応事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法　消防法				
事業概要	（事業概要） 激甚化・頻発化・広域化する災害に加え、テロを含むＮＢＣ災害や予測困難な感染症等にも安全・的確に対応する必要がある。これら災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、かつ隊員の安全確保と負担軽減のため、消防活動資機材全般の更新整備を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 激甚化・頻発化・広域化する災害に対する市民ニーズが高まっている。 （見直しや改善等の経過） 消防活動全般の資機材について、中長期計画および災害ニーズに応じた更新整備を図る。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	災害活動時に使用する活動資機材や保安資機材などを
目的（何のために）	激甚化・頻発化・広域化する災害の被害を軽減し、市民の生命、身体及び財産を保護するため
手段（どのようなやり方で）	中長期計画を基にした更新整備を進める一方で、災害ニーズに即応できるよう、消防・救急・救助の枠にとらわれることなく、災害現場活動に必要な資機材整備費を集約することで
成果（どのような状態にするのか）	安全、確実、迅速な救出救護活動と、活動隊員の二次災害防止、負担軽減が図られ、市民の安心、安全な暮らしを確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	139,403	160,590	155,634	156,557	163,597	163,597	163,597
事業費	9,543	24,590	20,434	21,357	28,397	28,397	28,397
国庫支出金	2,282	7,537	2,050	0	0	0	0
県支出金	53	0	93	0	71	0	0
地方債	1,976	6,519	1,800	0	0	0	0
その他	53	0	93	0	71	0	0
一般財源	5,179	10,534	16,398	21,357	28,255	28,397	28,397
人件費計	129,860	136,000	135,200	135,200	135,200	135,200	135,200
事務・技術（人）	16.50	17.00	16.90	16.90	16.90	16.90	16.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0253
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
事務事業番号　02634　大規模災害活動対応事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-38-00-04-00	大規模災害活動対応事業費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)消防用活動資機材更新件数（リース契約、備品契約数）	件	8.00 6.00	8.00 8.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
(成果)消防用活動資機材更新率	%	100.00 75.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	消防組織法により、市町村は消防責任を負っている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	実践的訓練による活動技術の習得に努めている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	的確な活動と隊員の安全管理に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大規模災害への備えは市民の安心安全に繋がる			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	複雑化、大規模化する災害に的確に対応するため、中・長期的な視点で効果的効率的に消防活動資機材の更新整備を進めていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	引続き、中・長期的な視点で効果的効率的に消防活動資機材の更新整備を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2354　消防局警防課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02634　大規模災害活動対応事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)消防用活動資機材更新件数（リース契約、備品契約数）	件	8.00 6.00	8.00 8.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	リース契約、５０万円以上備品契約数　「単位：件」						
(成果)消防用活動資機材更新率	%	100.00 75.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	契約率　「単位：%」						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0254
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　山本　征治
所属　2355　消防局通信指令課　記入者　杉原　武則
事務事業番号　00274　通信指令業務事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	017　通信指令業務事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	消防組織法、消防法				
事業概要	（事業概要） 高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等各種機器の機能を最大限に活用し、迅速、的確に出動指令を行うことを任務とし、被害の軽減及び救命率の向上を図るもの。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 災害は激甚化・頻発化・広域化するとともに、救急需要が増加傾向にある中で、緊急事態への即応体制や情報通信機器等の有効活用、適正管理など、高度で迅速・確実な通信指令業務の推進が必要である。 （見直しや改善等の経過） １１９番通報時から出動指令に要する時間短縮を目指し、通報受信訓練等を実施し職員の指令管制対応能力の向上を図ると共に、市民に対し消防局ＨＰ等を活用して、１１９番通報要領についての広報を行っている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民からの１１９番緊急通報に対し
目的（何のために）	災害による被害の軽減と救命率を向上させるため
手段（どのようなやり方で）	高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の活用を図り
成果（どのような状態にするのか）	迅速、的確な指令管制業務による情報収集等から、被害の軽減と救命率を向上させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	196,833	200,955	203,421	215,550	215,550	215,550	215,550
事業費	97,853	99,515	97,981	110,110	110,110	110,110	110,110
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	97,853	99,515	97,981	110,110	110,110	110,110	110,110
人件費計	98,980	101,440	105,440	105,440	105,440	105,440	105,440
事務・技術（人）	11.50	11.50	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0254
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2355　消防局通信指令課
事務事業番号　00274　通信指令業務事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-01-00	通信指令業務費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)火災への出動指令数（災害真報）	件	0.00 74.00	0.00 78.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(活動)救急への出動指令数（災害真報）	件	0.00 20,830.00	0.00 20,531.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)火災事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	100.00 115.32	100.00 113.90	138.00 0.00	138.00 0.00	138.00 0.00	138.00 0.00	138.00 0.00
(成果)救急事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	80.00 78.11	80.00 75.80	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法令に基づく市民の安全確保を行う事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	被害の軽減と救命率の向上につながっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	高機能消防指令システムの機能を有効に活用できていた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	的確な指令管制により、被害の軽減、救命率の向上に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	緊急通報に迅速かつ的確に対応する必要がある指令管制業務は、市民の安心・安全を守る重要な責務である。近年、多様化する災害や通報環境の変化への迅速な対応が求められる中、本年はさらなる業務の高度化と体制強化を推進するため、現場活動におけるIP無線の導入により迅速な情報共有体制を確立し、激甚化する災害に対応するため最新技術の導入と、関係機関との総合的な連携体制の構築を進め、救命率の向上や災害被害の軽減につながる強靭な指令管制業務の構築に取り組む。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	多様化する災害通報に迅速、確実に対応するため、高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線の安定稼働とシステムの効果的活用を図り、各種災害による被害の軽減と救命率の向上を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2355　消防局通信指令課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00274　通信指令業務事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)火災への出動指令数（災害真報）	件	0.00 74.00	0.00 78.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	火災出動指令数						
(活動)救急への出動指令数（災害真報）	件	0.00 20,830.00	0.00 20,531.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	救急出動指令数						
(成果)火災事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	100.00 115.32	100.00 113.90	138.00 0.00	138.00 0.00	138.00 0.00	138.00 0.00	138.00 0.00
	指標説明	災害地点決定、災害決定、自動隊編成、出動指令／各時間（秒）						
(成果)救急事案入電から出動指令までの時間（１１９番通報）	秒	80.00 78.11	80.00 75.80	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	災害地点決定、災害決定、自動隊編成、出動指令／各時間（秒）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0255
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　山本　征治
所属　2355　消防局通信指令課　記入者　杉原　武則
事務事業番号　01921　通信機器等整備事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021　安心して暮らせるまちづくりの推進				
取組の方向性	003　消防・救急体制の充実				
事務事業	003　通信機器等整備事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	消防組織法、消防法				
事業概要	（事業概要） あらゆる災害から市民の安心・安全を確保するため、高機能消防指令システム、消防救急デジタル無線設備及び消防支援情報システム等の適正な維持管理を行うことにより、円滑で効率的な情報管理体制の確立を図るとともに、情報通信技術の進展に即した通信機器を整備し被害の軽減に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年の災害は、激甚化・頻発化、広域化するとともに、救急需要は年々増加する中で、災害対応や情報収集等を迅速・的確に行うために、情報通信機器等の整備に努める必要がある。 （見直しや改善等の経過） 高機能消防指令システムの機能を最大限に活用すべく、職員の操作研修を進めて安定稼動を図り、市民等の被害の軽減及び救命率の向上に努める。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	指令管制業務に係る各システム及び情報通信技術の進展に即した通信機器を
目的（何のために）	災害発生時における的確な情報収集及び指揮命令系統の伝達機能を確保するため
手段（どのようなやり方で）	年次計画的に整備し
成果（どのような状態にするのか）	消防隊等への支援情報の提供による効率的な部隊運用により被害の軽減を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	60,033	556,004	60,853	161,590	398,000	121,167	125,000
事業費	17,133	508,004	12,853	113,590	350,000	73,167	77,000
国庫支出金	0	0	0	0	116,666	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	1,743	476,945	0	94,213	210,000	0	57,700
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,390	31,059	12,853	19,377	23,334	73,167	19,300
人件費計	42,900	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
事務・技術（人）	5.50	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0255
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2355　消防局通信指令課
事務事業番号　01921　通信機器等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-45-05-05-21-00-04-00	通信機器等整備費	消防局消防総務課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)災害への出動指令件数（災害真報）	件	0.00 21,169.00	0.00 20,971.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)入電から出動指令までの時間（全災害種別１１９番通報）	秒	80.00 79.32	80.00 78.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法令に基づく市民の安全確保を行う事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	災害時の的確な情報収集と効果的な情報共有が図れている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	情報収集と情報共有により被害の軽減に効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	情報通信機器の整備は効率的な消防活動を行う上で役割は大きい。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	消防指令システムの適切な維持管理と職員の操作習熟度の向上を徹底し、多様化・複雑化する災害通報への対応力を強化する。また正確な現場状況の把握と、迅速な部隊運用を実現するため、最新のデジタル技術を柔軟に導入・検証して指令システムの整備を図る。 さらに、これらの成果を基盤として、一歩進んだ「救命率の向上」に直結する新たなＤＸへの取り組みを加速させ、市民の安心・安全をより高い次元で確保する次世代型消防システムの構築を強力に推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線の安定稼働に備え、計画的に保守管理計画を推進し、システム等の効果的活用を図る。 また、災害発生時における、より精度の高い情報収集と現場活動隊への迅速、的確な情報発信により、被害の軽減に繋げていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　2355　消防局通信指令課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01921　通信機器等整備事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)災害への出動指令件数（災害真報）	件	0.00 21,169.00	0.00 20,971.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	火災、救急、救助、警戒、偵察　他						
(成果)入電から出動指令までの時間（全災害種別１１９番通報）	秒	80.00 79.32	80.00 78.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	災害地点決定、災害決定、自動隊編成、出動指令／各時間（秒）						